

体育科学習指導案

場所 体育館

4年3組 小林宏生

1. 単元 「ポートボール」

2. 研究主題との関連

学び合い活動を通して、学びを深める子どもを育てる授業づくり
～ICT機器を活用して学び合いが深める授業～

(1) 単元について

4年生の児童はこれまでに、「ラインサッカー」や「ポストハンドボール」などのボールゲームを通して、相手の動きに応じて動いたり得点するためのスペースやタイミングを見つけて動いたりしてきた。休み時間などに運動場でサッカーをして遊んでいるときでも、相手や味方の動きを意識して自分の動きに生かすことができている。しかし、まだまだ「自分と相手の1対1」の意識にとらわれていることが多く、個人プレーをしてしまいがちである。チームとしての作戦がうまくいったとかチーム全体の動きがどうだったかよりも、自分が得点できたとか自分がいいプレーをできたということに価値を見出している児童が多い。

ポートボールは、コート内で攻守入り混じってボールを手で扱い、簡単な技能を身につけながらゲームを行うものである。ドリブルやパスをして攻め、ゴールマンにシュートをして相手チームと得点を競い合うのが楽しい運動である。

本単元の指導をするにあたって、学び合い活動が活発に行われるような工夫をしていく。まずは、ICT機器を取り入れて動きのコツや作戦などの児童の学びを視覚化する。それをもとにして「この場合はこう動いた方が攻めやすいね。」というように話し合いの視点が定まり、学びが高まると考える。そして、チーム意識を強く持たせることもよりよい学び合いにつながると考える。チームのメンバー全員が積極的にゲームに参加できるようなルールの工夫をしたり、「ペアチーム」をつくって2つのチームが協力し合えるようにしたりすることで、みんなが同じ視点を持つことができ質の高い学び合いが行われると考える。

(2) 単元の目標

- 【学ぶ態度】 チームで協力して練習やゲームに取り組み、楽しんで運動することができる。
- 【思考・判断】 チームが試合に勝ったり良い試合ができたりするように、チームとしての動きや作戦を考えることができる。
- 【技能】 ポートボールを行うための基本的な動きを身につけることができる。

(3) 授業構成の仮説

①学びを創り続ける授業づくりの視点

学習を進めるにあたってまずは、「なじみ」の運動を活用して児童の学習に向かう気持ちを高めていきたい。誰もが簡単にできてポートボールを行う上で必要になる動きや感覚を身につけることができるような運動を取り入れることで、心も体も「もっと運動したいな」という状態にできるのではないかと考える。制限時間内にどれだけボール回しをできるかという運動を楽しんで行っているうちに、素早くパスを出す力が身についていき、その力をさらに伸ばしたいと考えてチーム練習にも取り入れるというようにすることで、自ら学びを創り続ける姿へとつながっていくだろう。

②学び合い活動を支える手立て

学習をすすめるにあたってICT機器を積極的に取り入れていきたい。iPadの動画撮影機能を活用することで、自分のあるいは自分たちの動きがどんなものであったかを視覚的・客観的に捉えることができ、的確に動きのふりかえりができるものとする。

また、チーム全体の動きやポジショニング、作戦などをiPadのアプリケーションを利用して「作戦ボード」として活用する。これはホワイトボードや画用紙よりも操作や書き込みが手軽にできる。そして考えたポジショニングや立てた作戦を写真アルバムに保存しておくこともでき、動画としても保存・再生ができる。考えたものをその場で終わりにしてしまうのではなく、保存して後から何度でも見直すことができるので作戦の反省や変更などもスムーズになり、よりよいものを考えようとする意欲につながるのではないかと考える。

さらには、iPadをプロジェクターに接続して壁やホワイトボードなどに投影することで、個々のよい動きや気づき、チームの考えや作戦などを全体で共有する。そうすることで、自分では気づかなかったことや新たな考えなどを知り自分の運動につなげたり、ほかのチームからのアドバイスをもらったりして活発な学び合いが行われるようになることをねらいとする。

3. 指導計画（全10時間 本時は6/10時間目）

学習活動	学習内容		評価と支援（☆評価規準 ◆支援）			
<p>①オリエンテーション （1時間）</p> <p>○ポートボールの学習の進め方やルールを理解する。</p>	<p>学習課題</p> <p>ルールを理解して学習の見通しを持つ。</p>	<p>子どもの意識の流れ</p> <p>今までは自分のプレーしか気にしていなかったけど、ポートボールはチーム全体の動きに注目するのが大切なんだな。</p> <p>ポートボールって楽しそうだな！早くやってみたい！</p> <p>シュートやドリブルのコツをたくさん見つけたいな！</p>		<p>学ぶ態度</p> <p>☆ルールを守り、チームで協力して、安全に気をつけながらポートボールを楽しむことができる。</p>	<p>思考・判断</p> <p>☆よりよい動きを目指してチームで協力し合い、運動に取り組むことができる。</p>	<p>技能</p> <p>☆練習や試合をする中でポートボールに必要な基本的な技能を身につけることができる。</p>
<p>②練習でレベルアップしよう （5時間） （本時4/5時間目）</p> <p>○なじみの運動に取り組み、技能をみにつける。</p> <p>○チームで話し合い、練習に取り組む。</p> <p>○練習試合をする。</p> <p>○学習をふりかえる。</p> <p>③練習の成果を発揮しよう（リーグ戦） （4時間）</p> <p>○チームで練習する。</p> <p>○試合を行う。</p>	<p>チームで協力してよりよい動きができるように練習しよう。</p> <p>練習の成果を発揮してチームの勝利を目指そう。</p>	<p>ひとりずつマークする相手を決めておけば守るときはうまくいきそうだね。</p> <p>うまくパスがつながらないとシュートができないな。次はパスの練習を中心にやっていこう。</p> <p>攻めるときは全員でゴールに向かって行って、パスがもらえるように動かないといけないね。</p> <p>パスを出すときにフェイントを入れるとうまくいきそうだな。練習してみよう！</p> <p>ペアチームと協力して作戦がうまくいくかどうか、実際に動いて確かめてみようよ！</p> <p>相手のいないスペースに入ればしっかりパスを受け取ることができるよ。</p> <p>この作戦は使えそうだね！次の試合で使えるようにしっかり動きの練習をしておこう。</p> <p>ぼくたちが相手をひきつけておくから、そのすきにゴールの方に行っておいてね。</p> <p>作戦が見破られてきたな。よし！相手に読まれないように新しい作戦をいくつか考えよう！</p> <p>得点したあとの守りが弱いなあ。攻めも守りもうまくいくポジションをしっかり考えてみよう。</p> <p>チームのみんなが協力してプレーすると、いろんな動きや作戦ができて試合にも勝てたね！次も協力して楽しく運動ができるといいな！</p>		<p>◆個人の動きよりもチームの動きに目を向けさせ、うまく協力できているチームは積極的に賞賛する。</p> <p>◆練習をしながら友達のいいところに気づけるように声かけをする。</p> <p>◆いい動きをしている子どもやチームに対して声かけをしたり、みんなに紹介したりしてより意欲的に取り組めるようにする。</p> <p>◆安全に運動をするために注意することや危険なことはないか常に考えさせる。</p>	<p>◆課題に合った練習内容をチームで考えさせるため、一時間ごとのめあてを明確にする。</p> <p>◆チームでの練習につまづきが見られるときは、指導者からヒントを与えたりする。</p> <p>◆うまく工夫した練習ができていたチームを紹介し、全体に広げる。</p>	<p>◆ポートボールに必要な技能につながる、なじみの運動を取り入れる。</p> <p>◆I p a dを使いそれぞれの動きを見やすくすることで、しっかりふりかえられるようにする。</p> <p>◆いい動きをしている子どもやいい気づきなどを積極的に取り上げ、全体に広める。</p>